

◇千人プロジェクトだより 岡篤

●合同例会のお誘い

学力研の常任はけっこう忙しい。毎月の常任委員会は、当然としても、様々なセミナーの企画、運営、そして報告者も常任がやっている場合が少なくありません。

したがって、よく顔を合わせるメンバーは、月に2回、3回といっしょになることもあります。

そんな関係でありながらも、お互いの実践となると意外と知らないということに以前から課題意識を持っていました。

本来、教育実践のために集まり、より効果的に進めるための常任委員なのに、それぞれの教育実践についての交流があまりできていないというのは矛盾です。

4月でいうと、私は群馬の学級開きで講師をさせていただきました。同時期に各地で開かれているのですが、そこでの報告は私は聞くことができませぬ。

全国フォーラムも、分科会に配置されており、常任はそれぞれに配置されています。分科会が違えばたとえ、それぞれが報告者であっても話を聞くことはできません。これをなんとかしたいとずっと思っていました。

それが合同例会を始めるきっかけです。今回で2回目になります。時間的には10分から15分の短い報告になります。それでも、やはり長いおつきあいのある方の初めて聞く話があり、新鮮でした。

ことの始まりは常任の実践交流でしたが、実際には半分くらいが常任以外の参加者でした。この場で初めてお会いする方も何人もいてこれも刺激になりました。

短時間だけに実践の一部分を切り取ることにあります。完成した取り組みではなく、途中経過や課題意識を話すことにもなります。これもなかなかよかったです。

今回は、6月セミナーの午前中です。ぜひ気軽ににご参加ください。

◇組織局だより 岡本 美穂

●今後の学力研にご期待ください。

今年の夏の大会での記念講演者は上越教育大学教授の赤坂真二先生です。演題は「子どもたちの幸福感を高める教師の姿」とです。学力研では、学力の基礎を鍛えど

の子も伸ばすという信念のもと、研究を続けてきましたが、その根底には、どの子どもたちも幸せにキラッと輝ける子どもにしたいという思いがあります。そして、そのためには学級づくり、授業づくりについても大切に実践して研究しています。学力研はこのように

根底がずれませんので、新任の方にもベテランの方にも愛されるのだと最近感じています。

そして、今後は大阪で菊池道場との合同講座、北海道で北の教育文化フェスティバルとのコラボ講座が行われます。お互いの大切にしている部分を学びながら、日本

の子どもたちが幸せになる方法を探していきます。

◇学力研最新情報 岸本ひとみ

●大会申込は超早割りがお得!

申込は2パターン。

①5月中に、必要事項を記入した早割りラシで申し込む。

参加費5000円をお近くの常任委員(地域サークルには必ずいます。)に手渡し。この場合、特典CDプレゼント。

②6月1日〜7月21日の間に申し込む。

事前入金の場合、参加費は5000円。

どちらの場合も、受付完了の葉書を会場に持って来ていただくことは変わりありません。

早割りで申し込みされたら、すぐに宿の確保をおすすめします。近年、大阪のホテル難は考えられないほです。スタッフも、半年前からホテルを予約しているほどです。8月の土日となると、府内

にも見つからないこともあります。5月21日(土)の学級づくり講座の会場でも、早割り申し込みの受け付けをします。9月開講の「先生のための学校」申し込みも

この日からです。ぜひご参加下さい。